

今こそ身に付ける！家庭学習の方法

新型コロナウイルス災禍による緊急事態宣言のもと、学校は休校の状態が5月も続いています。今のところいつ学校が再開されるかは不確かですが、この状態において、勉強面では日頃の家庭学習を充実させることが何より重要です。とくに、各教科の重要語句、漢字や英単語の定着や苦手科目の克服は、短期的な学習ではできませんし時間が掛かります。例えばテスト前にこれらを取り組もうとしても、なかなか時間が取れるものではありません。ならば、学校が休校期間である今こそ、暗記や苦手科目（単元）の演習を行い、来る新学年の勉強内容へ備え、新学年への実戦応用力を高めることが理想ですね。しかし「理想」ばかり掲げても、実際の家庭学習では何をしたらよいか分からない生徒さんもいるようです。ここでは、今だからこそできる「家庭学習の方法」についてまとめてみようと思います。

【スケジュールを立て課題をこなす】

①スケジュールを立てる

- ・無理な予定は立てず、余裕のある計画表を作ってみよう
(例) 毎日漢字を2ページずつ取り組む。書けなかったら10回練習
不規則動詞など英単語を1日5個ずつ、音読しながら覚える など
- ・1つの科目ばかり長時間勉強するのは避けよう
- ・ミスした問題には印をつけておき、あとで必ず解き直しをする時間を取ろう

②苦手科目を優先的に復習する

- ・「日頃勉強しない」→「テスト直前ぎりぎりに勉強」→「テストの点数が悪い」
→「嫌いになる」→「さらに勉強しない」・・・この悪循環を断ち切ろう
- ・その他の科目も油断せず復習をしておこう

③得意科目は予習をしてみよう

- ・難しいことはしなくてもOK。数学なら、順に教科書を読み例題と類題を解いたり、英語は本文を音読し、新出単語の意味調べ、新出文法単元の練習をしてみよう
(国語・理科・社会は教科書の読み込み、漢字・重要語句の暗記など)

④ノルマを達成するという強い意志を持つ

- ・途中で予定を変えて自分自身を甘やかさない

⑤学校からの課題は提出期限を守る

- ・提出物を出さない場合、成績に「1」がつけられても文句は言えません
- ・ただし、課題を「終わらせればよい」ではありません
→1ページずつ（なるべく短い範囲で）の答え合わせと見直し、
そして、やはり後ほど必ず解き直しをしてみよう



【勉強を進める上での注意点】

⑥「ノートまとめ」に時間を費やさない

- ・「ノートまとめ」をしただけで「勉強をした気分」にならないこと
→きれいなノートを作っただけでは学力は向上しません
- ・集中して覚える時間・問題を解く時間の多さが、成績アップの秘訣です

⑦「覚えよう」という気持ちと行動が大切

- ・ただ単に眺めていても暗記はできない。手を動かして必ず書こう
- ・1回で覚えようとせず、何度も繰り返そう
- ・間違えた問題には、必ず印を付けておこう
→その後、その問題を中心に必ず解き直しを行おう

⑧わからない問題をそのままにしない

- ・まず解答・解説を読み自力で解決してみる
→そのあと自分一人で解けるか挑戦しよう
- ・それでも分からない時は学校や塾の先生に聞いて必ず解決しておく
→その後必ず自分で解き直そう

基本は以上です。自分自身に合った家庭学習法をしっかりと確立することは、中（高）生の大きな目標とも言えます。そしてそれを身に付ければ、一生ものの財産になり得ます。日本はもとより世界的に大変な状況ですが、逆にこの機会に自身の家庭学習を見直し、プラスの方向になるよう努力してみましょう。その上で、具体的に何をしたらよいかわからない方は、教室スタッフに相談してくださいね。